

2023年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本語Ⅱ-2 (JapaneseⅡ-2) 2011-0-21-021					担当教員	村越 真紀 (ムラコシ マキ)		
科目区分	教養科目 (留学生 科目)	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	2年次	開講期	後
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
4技能(読む、書く、聞く、話す)を伸ばすことを目指す。 日本語能力試験(JLPT)N2またはN1に合格することを目指す。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
状況によって、試験のやり方が変わる。詳しいことは試験の前に説明する。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストを行う。宿題になることもある。 授業の前：次の授業にそなえて準備しておくこと。 授業の後：授業の内容を確認すること。 教室では、母語や英語を使わず、日本語で話すこと。 授業はすべて日本語で行う。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
日本事情1、日本事情2、日本語Ⅰ-1、日本語Ⅰ-2を履修しておくことが望ましい。 日本語Ⅱ-1を必ず履修すること。									
⑤ テキスト(教科書)									
①伊能裕晃他(2011)『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』スリーエーネットワーク (1年次に使用したテキストを引き続き使用する。) ②ABK 財団法人 アジア学生文化協会(2014年)『TRY! 日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語』アスク(中国語版、ベトナム語版、英語版があるので、各自自分が使いやすいものを購入すること。)									
⑥ 参考図書・指定図書									
友松悦子他(2010年)『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク 佐々木瑞枝他(2006年)『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times 二通信子、佐藤不二子(2020年)『新訂版留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク 日本語能力試験問題研究会(2011年)『日本語能力試験直前対策 N2 文字・語彙・文法』国書刊行会 田代ひとみ他(2011年)『新完全マスター読解 日本語能力試験N2』スリーエーネットワーク									

⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安	
(i)	日本語能力試験（JLPT）N2 レベルの語彙や文法の問題が、授業でやった範囲内であれば90%以上得点できた。
(ii)	身近な話題や個人的に関心のある話題というテーマで、準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。
(iii)	身近な話題や個人的に関心のある話題というテーマで、適切な構成で、ネイティブチェックが無くても、おおよそ意味の通る800～1000字の文章が書けた。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日本語能力試験（JLPT）N2レベルの語彙や文法の問題が解ける。	授業でやった範囲を超えて、N2レベルの語彙や文法の問題で80%以上得点できた。	授業でやった範囲内のN2レベルの語彙や文法の問題で、90%以上得点できた。	授業でやった範囲内のN2レベルの語彙や文法の問題で、75～89%得点できた。	授業でやった範囲内のN2レベルの語彙や文法の問題で、60～74%得点できた。	授業でやった範囲内のN2レベルの語彙や文法の問題で、60%以上得点できなかった。
(ii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、日本語で伝えられる。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表でき、質問にも答えられた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに発表できたが、流暢ではなかった。	原稿を見ながらであれば、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できた。	原稿を見ながらであっても、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できなかった。
(iii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、まとまりのあるやや長い文章が書ける。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る1000字以上の文章が書けた。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くてもおおよそ意味の通る800～1000字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおおよそ意味の通る800～1000字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおおよそ意味の通る600～800字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックではおおよそ意味の通る600字以上の文章が書けなかった。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%	10%	15%		15%	15%		100%
(i) 日本語能力試験（JLPT）N2レベルの語彙や文法の問題が解ける。	45%	10%				5%		60%

(ii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、日本語で伝えられる。					15%	5%		20%
(iii) 身近な話題や個人的に関心のある話題について、まとまりのあるやや長い文章が書ける。			15%			5%		20%
フィードバックの方法	スピーチ原稿は添削して返します。小テストは採点して返します。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
積極的に授業に参加してください。 授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション、夏休みの宿題発表	夏休みの宿題を、発表できるように準備しておく。	120分
2	語彙テキスト第2部、第6章、第1課 文法テキスト7 オオカミと生態系 (1)	前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	120分
3	語彙テキスト第2部、第6章、第2課 文法テキスト7 オオカミと生態系 (1) (2)	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	120分
4	語彙テキスト第2部、第7章、第1課 文法テキスト7 オオカミと生態系 (2)	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	120分
5	語彙テキスト第2部、第7章、第2課 文法テキスト8 取引先で ミニスピーチ1	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	120分
6	語彙テキスト第2部、第7章、第3課 文法テキスト8 取引先で	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	120分
7	語彙テキスト第2部、第7章、第4課 文法テキスト9 食べ放題 (1)	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	120分
8	模擬試験第1回 文法テキスト9 食べ放題 (1) (2)	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	120分

9	模擬試験第2回 文法テキスト9 食べ放題 (2)	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチをしておく。	120分
10	文法テキスト10 満員電車 (1) ミニスピーチ2	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでミニスピーチを準備しておく。	120分
11	文法テキスト10 満員電車 (1) 文法テキスト10 満員電車 (2)	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチ原を準備しておく。	120分
12	文法テキスト10 満員電車 (2) 文法テキスト11 ラーメンの紹介	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	120分
13	文法テキスト11 ラーメンの紹介 文法テキスト12 ウォーキングシューズの開発(1)	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	120分
14	文法テキスト12 ウォーキングシューズの開発(1) 文法テキスト12 ウォーキングシューズの開発(2)	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。指示されたテーマでスピーチを準備しておく。	120分
15	文法テキスト12 ウォーキングシューズの開発(2) スピーチ	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。	120分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL、

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性